令和８年第４回鹿沼市議会定例会

発言順序表（案）

議案質疑並びに市政一般質問

◆◇◆令和８年１２月２日（水）◆◇◆

No.	議席番号	（登壇予定時刻） 議　員　氏　名	発　　言　　内　　容	頁
1	２３	（１０時頃） 関　口　正　一	1　無形民俗文化財の支援について 2　農家に対する支援について 3　窓口受付時間の変更と働き方改革について 4　資材費などの物価高騰に対する事業者支援について	1 ～ 4
2	１４	（１１時頃） 阿　部　秀　実	1　農業と農家を守る鹿沼市の農業政策について 2　カーボンニュートラルの取り組みについて 3　鹿沼まるごと博物館について	5 ～ 9
3	４	（１３時頃） 早　川　勝　弘	1　聴覚障がい者等の情報アクセシビリティの向上について 2　子育て世代の負担軽減と保育環境の向上について 3　市民が安心して受診できる「休日夜間急患診療所」の運営体制について	10 ～ 12
4	１	（１４時頃） 鹿　妻　武　洋	1　林野火災について 2　カスタマーハラスメントについて	13 ～ 14
5	２４	（１５時頃） 大　島　久　幸	1　少子化対策について 2　西北部地区の活性化について 3　教育行政について	15 ～ 17

※登壇予定時刻はあくまでも目安であり、前後することがありますので、予めご了解ください。

◆◇◆令和８年１２月３日（木）◆◇◆

No.	議席番号	（登壇予定時刻） 議　員　氏　名	発　　言　　内　　容	頁
6	6	（１０時頃） 舩　生　雅　秀	1　鹿沼市の農業政策について 2　こども食堂に対する助成金について	18 ～ 19
7	2	（１１時頃） 仲　田　知　史	1　地域経済の活性化と地域通貨の導入可能性について 2　子どもの貧困対策とこども食堂への支援について	20 ～ 23
8	3	（１３時頃） 橋　本　勝　浩	1　AI オンデマンドバス『ポポカ』の実証運行について 2　鹿沼市ペットの管理及びペット愛護等施設の設置に関する条例の検証について 3　第３次鹿沼市教育ビジョンの策定と今後の教育行政について	24 ～ 27
9	8	（１４時頃） 藤　田　義　昭	1　AI オンデマンドバス「ポポカ」について 2　市の遊休施設について	28 ～ 29
１０	9	（１５時頃） 梶　原　　隆	1　公共施設におけるエレベーター閉じ込め対策の強化について 2　マイナンバーカードを活用した避難所運営について 3　障がいのある子どもたちの放課後の居場所づくりと支援体制の充実について 4　肺炎球菌ワクチンの市独自の支援策について	30 ～ 37

※登壇予定時刻はあくまでも目安であり、前後することがありますので、予めご了解ください。

◆◇◆令和８年１２月４日（金）◆◇◆

No.	議席番号	（登壇予定時刻） 議　員　氏　名	発　　言　　内　　容	頁
１１	１２	（１０時頃） 石 川　　さ や か	１　ペットツーリズムによる交流人口の拡大について ２　公共交通の利便性向上について ３　こども食堂への支援の充実について	38 ～ 40
１２	７	（１１時頃） 橋　本　　修	１　南押原地区スマートインターチェンジの早期実現と鹿沼市南部地域の将来展望について	41
１３	２１	（１３時頃） 増　渕　靖　弘	１　東京サテライトオフィスについて ２　民生委員の役割と避難行動要支援者名簿の運用について ３　常任委員会の視察について	42 ～ 45
１４	２０	（１４時頃） 小　島　　実	１　野生鳥獣の被害について ２　旧粟野中学校敷地について ３　旧粟野中学校体育館について	46 ～ 48
１５	１５	（１５時頃） 佐　藤　　誠	１　戦没者追悼式について ２　『地域ブランド調査 2026』について ３　鹿沼の酒づくり（ビール・ワイン・日本酒）について	49 ～ 51

※登壇予定時刻はあくまでも目安であり、前後することがありますので、予めご了解ください。

１番	議席２３番　　関　口　正　一	（４－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　無形民俗文化財の支援について (1) 無形民俗文化財の保存・継承について ① 地域の少子高齢化、人口減少に伴う担い手不足について現状への認識と支援策について伺う。 ② 奈佐原文楽をはじめ、保存団体の活動や用具等の修繕に対する財政的支援について伺う。 ③ 文化財としての保護だけでなく観光や地域活性化にどう生かしていくのか市の考えを伺う。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１番	議席２３番　　関　口　正　一	（４－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　農家に対する支援について (1) 生産コスト上昇を受けた営農継続支援について ① 生産コスト上昇に伴う市内農家(特に米農家)への影響について伺う。 ② 現在行われている対策について伺う。 ③ 中長期的な支援の方向性について伺う。		(答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長)

１番	議席２３番　　関　口　正　一	（４－３）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
３　窓口受付時間の変更と働き方改革について (1) 市民の反応と成果について ① 試行開始から６か月が経過したが、市民の反応や把握された課題を伺う。 ② 市民サービスが低下することも懸念されるが、職員の働き方改革の効果を市民にどう還元していくのか伺う。	（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）	

１番	議席２３番　　関　口　正　一	（４－４）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
４　資材費などの物価高騰に対する事業者支援について (1) 資材費などの物価高騰に対する事業者支援について ① 資材価格や光熱水費の高騰など、市内企業を取り巻く環境は年々厳しくなっているが、市ではどのような支援を行っているか伺う。	（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）	

２番	議席１４番　阿　部　秀　実	（５－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　農業と農家を守る鹿沼市の農業政策について (1) 中東情勢の緊迫化と鹿沼市の産業・経済への影響について ① 紛争、戦争のない平和な世界が一日も早く来てほしいと願っています。しかし、現在、中東情勢が緊迫化し、ホルムズ海峡封鎖による影響が懸念されています。日本は原油の９割を中東に依存し、その多くがホルムズ海峡を経由しています。その影響での原油価格の高騰やナフサ不足、物流や製造業、肥料原料の供給に深刻な影響が出ています。中東情勢緊迫化のリスクが厳しい中、鹿沼市の農家、農業に与える影響についてどのように認識しているか、本市の見解を伺います。 ② 施設園芸や稲作農家に対する、燃油、資材、肥料価格高騰に対する、支援策が必要だと思いますが、考えを伺います。		（答弁者：市長・教育長・関係部長）

２番	議席１４番　　阿　部　秀　実	（５－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
(2) 稲作農家を守る施策について ① 昨年、一昨年の令和の米騒動によって、需給逼迫による米価の著しい高騰がありました。全国的に主食用米への作付け回帰が進み、令和８年産米は一転して米価が下がったことが稲作農家にとって深刻な問題となっています。収入が安定しないことや、新たに購入した農機具の支払いへの不安を抱えているなどのことから、離農の懸念もあり、本市としては持続的で発展的な農業振興を図る立場としてその認識と見解を伺います。 ② 国は放出した政府備蓄米(合計約 59 万トン)を巡り買い戻しを進めています。目指している 100 万トンのすみやかな買い入れと、200 万トンを目指すよう求めることや、国による所得補償と価格保証による米の再生産を支える制度の確立などを、市長会、県、国に要望書を提出して欲しいと思いますが、見解を伺います。		

２番	議席１４番　　阿　部　秀　実	（５－３）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　カーボンニュートラルの取り組みについて (1) カーボンニュートラルに向けた具体化について ① 地方公共団体としてのカーボンニュートラルの具体化は、企業などの誘致においても選ばれるまちの条件になると考えます。しかし、その取り組みは、行政だけで成しえることではなく企業との連携が必要であると考えます。鹿沼市は令和８年３月、コスモ石油マーケティング株式会社と「ゼロカーボンシティ実現に向けた地域包括連携協定」を締結しました。その主な内容として、(1)ゼロカーボンシティの推進(2)地域循環共生圏の推進(3)市民への環境教育としています。具体的な事業の展開について伺います。 ② 更なる推進を図るため、市民の皆様や「かぬまエコノミーティング」の会議と、様々な協定の締結先に向けてもゼロカーボンシティを目指す働きかけが必要だと思いますが、考えを伺います。	（答弁者：市長・教育長・関係部長）	

２番	議席１４番　　阿　部　秀　実	（５－４）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
(2) 再生可能エネルギーについて ① 地域脱炭素化の推進として、市役所本庁舎の屋根上に太陽光発電設備を設置し、エネルギーの地産地消を行っています。この取り組みを発展させて自然再生エネルギーの「メイドインかぬま」を目指してはどうかと考えます。 　先進事例として、埼玉県所沢市の地域新電力会社「株式会社ところざわ未来電力」の取り組みがあり、所沢市(51%出資)、JFE エンジニアリング(29%)、飯能信用金庫(10%)、所沢商工会議所(10%)が出資して設立された埼玉県内初の自治体出資による地域新電力であり、現在、市の公共施設の電力と、一般住宅約 700 世帯と契約しており、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」を策定してさらなる拡充を目指しているということであり、構想を策定して取り組んではどうかと思いますが市の考えを伺います。		

２番	議席１４番　　阿　部　秀　実	（５－５）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
３　鹿沼まるごと博物館について (1) 鹿沼まるごと博物館の活動について ① 歴史と文化の街である本市にとって、鹿沼まるごと博物館と資料館を持っていることは大変重要で誇るべきことです。しかし、市民が誇れる現状とはいえないと感じ、またそういう声も聞かれるため、さらなる充実と改善が必要だと考えています。博物館事業が、郷土の誇り、市民文化の拠点として位置付けられる取り組みについて伺います。 ② 鹿沼まるごと博物館の事業拡充のための資料購入費、広報活動などの予算の充実が必要だと思いますが、令和８年度の予算と、来年度の取り組みについて伺います。 ③ 鹿沼まるごと博物館の資料調査などについて、市内の中学生や高校生に向けての体験活動を通して文化活動の啓発を勧めてはと思いますが、考えを伺います。		（答弁者：市長・教育長・関係部長）

３番	議席　４番　　早　川　勝　弘	（３－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　聴覚障がい者等の情報アクセシビリティの向上について (1) 鹿沼市における聴覚障がい者への相談体制の現状について ① 鹿沼市が制定している「手話言語条例」の趣旨を踏まえ、聴覚障がい者が市役所に問い合わせや相談をする際の手段、及び課題について伺う。 (2) 「手話リンク」の認識と導入について ① 「手話リンク」の効果・課題の認識、及び聴覚障がい者への支援充実の手段としての認識について伺う。 (3) 市役所代表電話窓口への導入について ① 市役所への問い合わせは多岐にわたる。まずは市役所の代表電話に「手話リンク」を導入し、必要に応じて担当部署につなぐ仕組みの導入の検討について伺う。		（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

３番	議席　４番　　早　川　勝　弘	（３－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　子育て世代の負担軽減と保育環境の向上について (1)「おむつの定額制サービス」の公立保育園への導入について ① 鹿沼市における公立保育園での「おむつ持参」が、保護者や保育現場に与えている時間的・精神的な負担についての認識を伺う。 ② 導入を検討する際、「初期無料体験期間の設置」や「公費による一部負担」等といった保護者が利用しやすくなるための配慮や支援策についての見解を伺う。 ③ 災害時のおむつの供給機能を果たすなど、防災体制の強化について伺う。		（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

３番	議席　４番　　早　川　勝　弘	（３－３）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
３　市民が安心して受診できる「休日夜間急患診療所」の運営体制について (1) 利用実態と運営上の課題について ① 過去 10 年間における受診者数、運営経費及び鹿沼市の財政負担の推移をどのように捉え、今後の診療体制を維持する上で、何を課題と認識しているのか伺う。 (2) 診療所の役割と財政負担の考え方について ① 鹿沼市として、今後も確保すべき診療所の役割と、その役割を維持するために必要な財政負担をどのように考えているか伺う。 (3) 体制維持に向けて鹿沼市が取り組む改善策について ① 診療所の利用方法や救急相談窓口の周知、経費の点検、施設・設備の計画的な維持管理について、現在の取り組みと今後の改善の方向性を伺う。 (4) 継続的な検証と今後の対応について ① これらの取組を一時的な改善に終わらせず、診療体制の維持につなげていくために、利用状況、運営経費、施設・設備の状況及び改善の効果を定期的に検証し、その結果を必要な予算措置や運営改善に反映させていくべきと考えるが、鹿沼市の考えを伺う。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

４番	議席　１番　　鹿　妻　武　洋	（２－１）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
１　林野火災について (1) 林野火災の現状や予防について ① 近年の鹿沼市内の林野火災について、発生件数、損害状況、発生原因などを伺う。 ② 林野火災が市民生活に与える影響について、どう認識しているか伺う。 ③ 林野火災予防のため、市民に対してどのような広報をしているか伺う。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）	

４番	議席　１番　　鹿　妻　武　洋	（２－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　カスタマーハラスメントについて (1) カスタマーハラスメントの現状と対応について ① 市職員に対するカスタマーハラスメントの発生状況について伺う。 　部署や役職、内容など、特徴があれば伺う。 ② 現状、カスハラに対して、体制の整備や防止策など、組織としてどのようなことをしているか伺う。 ③ 対策の効果を、今後どのように検証していくか伺う。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

５番	議席２４番　　大　島　久　幸	（３－１）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
１　少子化対策について (1) 子育て支援について ①　多子世帯への支援制度について伺います。 　出会い・結婚・妊娠(不妊治療)・出産・子育て(保育支援)・教育・若年世帯の住居の提供・働く場の確保と、切れ目のない支援を行っていますが、特に多子世帯への報奨制度等の設立について伺います。 ②　産後ケアについて 今年の４月より産後ケア事業が拡大されました。 　現在の産後ケア事業の状況、実績について、又利用しやすい産後ケア事業についてどのように考えていますか、伺います。	（答弁者：市長・副市長・関係部長）	

５番	議席２４番　　大　島　久　幸	（３－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　西北部地区の活性化について (1) 道路整備について ① 南摩ダムやその周辺施設の整備に伴い西北部地区の活性化が行われ、観光事業・交流人口増等が期待されます。 そのためには、交通アクセスの利便性を高める必要があります。また、当該道路は通学路としての役割もあり、整備は急務と考えます。 　具体的には市道0002号線や市道0017号線から県道下日向粟野線(337号)へのアクセスをよくする事だと考えます。 　特に市道0002号線の花岡町地内と、県道下日向粟野線の旭が丘・上南摩地内の狭窄部の整備は急務と思いますが当局の考えを伺います。	（答弁者：市長・副市長・関係部長）	

５番	議席２４番　　大　島　久　幸	（３－３）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
３　教育行政について (1) 教育長の教育理念について ① 鹿沼市の子供たちを健全育成(生きる力・学力向上等)するための教育長としての教育理念を伺います。 (2) 隠れ教育費の縮減及び補助について ① 見えにくい保護者負担の教育費「隠れ教育費」のわが市の実態をどのようにとらえていますか、又、それらの負担軽減について、例えば教材・学用品の共用使用・リユース、又、教材・学用品（新たに自由化になるヘルメット等）購入補助についての考えを伺います。 (3) 教職員の働き方改革について ① 教職員の働き方改革については、二学期制や部活動の地域展開等行ってきましたが教職員の業務効率・ワークライフバランスはどのように改善されてきたのか、相変わらず教職員の多忙感がまだまだあり、今後どのように改善されるべきと考えますか。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）	

６番	議席　６番　　舩　生　雅　秀　　（２－１）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
１　鹿沼市の農業政策について (1) 鹿沼市の農業政策について ① コメ農家に対しての鹿沼市の政策について、米価が安定していない局面にあるが鹿沼市の同農家への支援策を講じる考えはあるか否か伺う。 ② あるとすればどのような施策を考えているのか伺う。 ③ 農業の後継者不足が原因で離農が考えられるが市として支援できることがあるかどうか伺う。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

６番	議席　６番　　舩　生　雅　秀　　（２－２）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
２　こども食堂に対する助成金について (1) こども食堂に対しての助成金の適正な支払いについて ① 市のこども食堂の定義と現状及び助成制度について伺う。 ② 市のこども食堂に対しての助成金の支払いについて適正な支払いを行っているのかどうかを伺う。 ③ 支払いに至るまでにいろいろな調査を行うと思うが適正に調査し支払いを行っているか伺う。 ④ 証拠書類の確認やサポートを行っているか否か伺う。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

7番	議席　2番　　仲　田　知　史	（4－1）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
1　地域経済の活性化と地域通貨の導入可能性について (1) 鹿沼市の地域経済の現状と課題について ① 鹿沼市の市内総生産について、過去3年間の推移、産業別構成とその変化を伺う。また、本市の地域経済の現状と課題をどのように認識しているのか伺う。 ② 市民の消費活動における市外への購買力の流出について、どのように把握・分析しているのか。また、地域内での消費拡大と経済循環の促進に向けた取組について伺う。 (2) プレミアム付商品券事業の実績と経済効果について ① これまで実施してきたプレミアム付商品券事業について、直近2年間の発行総額、プレミアム額、事務経費、市の財政負担額、加盟店舗数及び換金実績を伺う。また、スーパー・量販店と地元中小店舗それぞれの利用実績について、どのように把握しているのか伺う。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

7番	議席　2番　　仲　田　知　史	（4－2）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
② 本事業による市外への消費流出の抑制など、地域経済への波及効果について、どのような検証を行い、どのように評価しているのか。また、事業の継続性についての認識を伺う。 (3) デジタル地域通貨の導入可能性について ① 全国の自治体では、地域内消費の促進や行政施策との連携を目的にデジタル地域通貨を導入する事例がある一方、利用者・加盟店の確保、運営費の負担、費用対効果などの課題も指摘されている。本市として、こうした地域通貨の有効性と課題をどのように認識しているのか。 ② 地域経済の活性化に加え、商業振興、健康増進、地域活動、公共交通等との連携も視野に入れ、既存の商品券事業との比較や国の交付金の活用、持続可能な運営体制を含め、デジタル地域通貨の導入可能性について調査研究する考えはあるか。		

7番	議席　2番　　仲　田　知　史	（4－3）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
2　子どもの貧困対策とこども食堂への支援について (1) 子どもの貧困と食の支援の現状について ① 本市におけるひとり親世帯数、児童扶養手当受給世帯数、生活困窮世帯の直近の状況を伺います。また、子どもの食生活や孤食、経済的な理由による食の困難について、市独自の実態調査を行っているのか伺います。 ② 市内で活動するこども食堂の団体数、開催頻度、利用人数、活動地域について、どの程度把握しているのか。 (2) こども食堂に対する行政支援のあり方について ① 本市では、こども食堂の設立に対して20万円の助成制度を設けているが、継続的な運営に必要な食材費、光熱費、会場費、保険料などについて、どのような支援を行っているのか。 ② 設立時の一時的な補助にとどまらず、活動実績や開催頻度に応じた継続的な運営助成制度を創設する考えはないか。		（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

7番	議席　2番　　仲　田　知　史	（4－4）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
(3) 子どもの食を保障する行政の責務について ① こども食堂は、地域の交流拠点としての役割もある一方、経済的に困難な家庭の食生活を支える役割も担っている。子どもが経済的な理由で十分な食事を取れない状況を防ぐことは、行政が取り組むべき重要な責務であると考えるが、市の認識を伺う。 ② 今後、こども食堂への運営支援の拡充に加え、ひとり親家庭と学校や福祉部門を通じた支援対象世帯の把握などを一体的に進める、鹿沼市独自の「子どもの食の支援体制」を構築する考えについて伺う。		

８番	議席　３番　　橋　本　勝　浩	（４－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　AI オンデマンドバス『ポポカ』の実証運行について (1) 実証運行の目的及び検証について ① AI オンデマンドバス「ポポカ」の実証運行について、地域公共交通の課題を踏まえ、どのような項目や指標により効果を検証するのか伺います。 (2) 実証運行における課題への対応について ① 高齢者をはじめ、スマートフォン等の利用に不慣れな市民への対応を含め、利用者の意見や課題を運行方法の改善にどのように反映していくのか伺います。		（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

８番	議席　３番　　橋　本　勝　浩	（４－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　鹿沼市ペットの管理及びペット愛護等施設の設置に関する条例の検証について (1) 条例制定後の検証と今後の方向性について ① 平成 18 年の条例制定以降の社会情勢や飼養環境の変化を踏まえ、条例第 3 条に定める「市の責務」の運用状況と、今後の施策及び条例の見直しの必要性について伺います。 (2) 第 9 次鹿沼市総合計画との整合性及び協働・共創の推進について ① 第 9 次鹿沼市総合計画が掲げる「協働・共創」の理念を踏まえ、動物愛護団体や地域住民、関係機関等との連携を含め、動物愛護及び適正飼養に関する施策をどのように推進していくのか伺います。 (3) 災害時におけるペットへの対応について ① 災害時のペット同行避難について、避難所での受入体制や関係機関等との役割分担を含め、地域防災計画との連携及び今後の体制整備について伺います。		（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

８番	議席　３番　　橋　本　勝　浩	（４－３）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
３　第３次鹿沼市教育ビジョンの策定と今後の教育行政について (1) 第2次鹿沼市教育ビジョンの評価と第3次鹿沼市教育ビジョンの策定について ① 第２次鹿沼市教育ビジョンの成果と課題をどのように評価し、第３次鹿沼市教育ビジョンの策定に反映していくのか伺います。 ② 第９次鹿沼市総合計画及び鹿沼市教育大綱との整合性をどのように図り、第３次鹿沼市教育ビジョンの基本方針を定めていくのか、また、今後の策定スケジュールについて伺います。 (2) 新教育長の教育行政に対する基本姿勢について ① 新教育長として、本市の教育行政が抱える主な課題をどのように認識し、今後の教育行政に臨むのか伺います。 ② 第３次鹿沼市教育ビジョンの策定に当たり、子ども一人ひとりの個性や多様性を尊重する視点を含め、特に重視する教育理念や重点施策について伺います。 (3) 不登校児童生徒への支援の充実について ① 本市の不登校児童生徒数の推移及び現状と課題について、これまでの支援施策の成果を含めて伺います。 ② 多様な学びや安心できる居場所の確保というこれまでの方向性を踏まえ、不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援の充実と、第３次鹿沼市教育ビジョンへの具体的な反映について伺います。		（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

８番	議席　３番　　橋　本　勝　浩	（４－４）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
(4) 不登校児童生徒の保護者への支援について ① 不登校児童生徒の保護者が抱える心理的、経済的負担について、本市の認識と現状の支援体制を伺います。 ② 保護者の孤立防止や相談支援の充実、福祉部門を含む関係機関との連携など、家庭全体を支える今後の取組方針と、第３次鹿沼市教育ビジョンへの反映について伺います。 (5) ICT を活用した多様な学びの機会の確保について ① 栃木県教育委員会が令和８年 10 月から開始したメタバースによる不登校支援について、本市の認識及び児童生徒・保護者への周知と利用支援の方針を伺います。 ② 県の支援事業と市内の教育支援機関との連携を含め、ICT を活用した学習支援や交流機会の充実について、今後の取組方針を伺います。		

９番	議席　８番　　藤　田　義　昭	（２－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　AI オンデマンドバス「ポポカ」について (1) AI オンデマンドバス「ポポカ」について ① 導入することとなった背景やねらいについて伺う。 ② 運行開始後の利用状況、市民の反応等について伺う。 ③ リーバス既存路線との整理統合により、全体経費、車両、運転手等がどのように再分配されるのか伺う。 ④ ミニバン等による運行についても検討されたのか伺う。 ⑤ 今後の課題や利用促進の取組みについて伺う。		（答弁者：市長・副市長・関係部長）

９番	議席　８番　　藤　田　義　昭	（２－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　市の遊休施設について (1) 市の遊休施設について ① 市が所有する遊休施設(建物等)の施設数について、また市の施設全体に占める面積割合について伺う。 ② 遊休施設全体の維持管理経費の前年度決算額、また今年度の現在計上されている予算額について伺う。 ③ 今年度実施している加蘇中学校のサウンディング調査の状況について伺う。 ④ また、加蘇中学校が遊休施設となった場合、想定される年間の維持管理経費について伺う。 ⑤ 今後の遊休施設のあり方について、市の考えを伺う。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－１）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
１　公共施設におけるエレベーター閉じ込め対策の強化について (1) 防災キャビネットの設置について ①　大規模地震や停電などによりエレベーターが停止し、利用者が閉じ込められる可能性があります。特に市役所本庁舎には、市民や職員など多くの方が訪れますが、本市の公共施設におけるエレベーターの閉じ込め対策はどのようになっているのか伺う。 ②　閉じ込めが発生した際、救助まで長時間を要する場合に備え、簡易トイレや飲料水、非常食などを備えた防災キャビネットを本市庁舎のエレベーターにも設置すべきと考えますが、市の見解を伺う。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－２）	
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
(2) 公共施設への拡大について ① 市役所本庁舎だけでなく、市民が利用する公共施設についても、エレベーターの設置状況や利用者数を踏まえ、防災キャビネットの設置を検討すべきと考えますが、見解を伺う。		

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－３）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
２　マイナンバーカードを活用した避難所運営について (1) 現状認識と先行事例について ① デジタル庁では、マイナンバーカードを活用した避難者受付アプリの実証を進めている。 　2026 年 2 月には三重県名張市で実証実験が行われ、マイナンバーカードやスマートフォンのマイナンバーカード、運転免許証などを利用して避難者の受付を行う仕組みが検証された。 　こうした国の取り組みや先進自治体の事例について、本市はどの程度把握しているのか伺う。	（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－４）	
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
(2) 避難所受付システムの導入について ① 熊本市では、2024 年 2 月の実証実験において、1 人当たりの受付時間が紙による受付で約 70 秒、マイナンバーカードによる受付で約 24 秒、アプリによる受付で約 4.6 秒という結果が報告されている。 　このように受付時間を短縮できれば、避難者の負担軽減だけでなく、避難所運営に携わる職員の業務負担の軽減にもつながる。 　本市においても、マイナンバーカードを活用した避難所受付システムの導入を検討すべきと考えますが、市の見解を伺う。		

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－５）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
３　障がいのある子どもたちの放課後の居場所づくりと支援体制の充実について (1) 利用需要に対する受入体制の確保について ① 放課後等デイサービスの利用見込量は、令和８年度には月 410 人と計画されているが、実際の利用状況はどのようになっているのか伺う。 ② 利用を希望しても希望する事業所を利用できないケースや、障がいの特性によって受入先が見つからないケースを市は把握しているのか伺う。 (2) 重症心身障がい児・医療的ケア児への支援について ① 本市の障がい児福祉計画では、重症心身障がい児を主に支援する放課後等デイサービス事業所を市内に１か所整備する目標を掲げているが、その進捗状況はどうなっているのか伺う。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－６）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
(3) 学校卒業後を見据えた切れ目のない支援について ① 放課後等デイサービスは、原則として高校卒業までのサービスですが、卒業後には生活介護や就労支援など、次の支援につなげる必要がある。 　卒業を迎える児童や保護者が不安を抱えることのないよう、早い段階から進路や生活支援について相談できる体制が必要と考えるが、市の見解を伺う。	

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－７）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
４　肺炎球菌ワクチンの市独自の支援策について (1) 肺炎の現状と予防対策について ① 本市における肺炎による死亡者数の推移について、過去５年間の状況を伺う。 ② 高齢者の肺炎による入院や医療費について、把握しているデータはあるか伺う。 ③ 肺炎予防に向けて、現在、本市が実施している取り組みについて伺う。 (2) 肺炎球菌ワクチンの接種状況と制度変更への対応について ① 本市における肺炎球菌ワクチンの定期接種について、過去５年間の接種者数と接種率の推移を伺う。 ② 令和６年度の制度変更前後で、接種状況にどのような変化があったのか伺う。 ③ 令和８年４月からの PCV20 への変更に伴い、対象者への周知や医療機関との連携をどのように進めたのか伺う。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１０番	議席　９番　　梶　原　　隆　　（８－８）	
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
(3) 65 歳を超えた高齢者への接種支援について ① 65 歳で定期接種の機会を逃した方や、これまで肺炎球菌ワクチンを接種したことがない 65 歳を超えた方について、市はどのように認識しているか伺う。 ② 75 歳以上の高齢者に対する肺炎球菌ワクチンの接種状況を把握しているか伺う。 ③ 65 歳を超えた高齢者が任意接種を希望する場合、費用が全額自己負担となる現状について、市はどのように考えているか伺う。		

１１番	議席１２番　　石　川　さやか	（３－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　ペットツーリズムによる交流人口の拡大について (1) 千手山公園の「わんにゃんデー」について ① 千手山公園の遊具にペット同伴で乗車できる「わんにゃんデー」トライアルの際の、来場者アンケート結果について伺います。 ② 継続的な実施に向けた課題や、今後の展望について伺います。 (2) 愛犬家向け施設の情報発信について ① ドッグランやドッグカフェ、キャンプ場など、愛犬家向けの施設に関する情報を集約発信することで、交流人口の拡大を図る考えについて、伺います。 (3) ドッグランの整備について ① 花木センターの再整備計画の中で、ドッグランを整備する考えについて伺います。		（答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長）

１１番	議席１２番　　石　川　さやか	（３－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　公共交通の利便性向上について (1) AI オンデマンドバス ポポカの導入について ① プレ運行開始後の、利用状況と今後の課題について伺います。 ② 運行エリアの拡大や、コンパクトな車両への変更、運行時間の延長について、今後見直しを行う可能性について伺います。 (2) リーバスの利便性向上について ① 交通系 IC カードが利用できる機械が既に設置されているリーバス車両が見受けられるが、全車両に設置し、利用可能になる時期について伺います。 (3) 予約バスの利便性向上について ① 運行エリアの拡大や、運行時間の延長について伺います。 ② 交通系 IC カードの導入について伺います。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１１番	議席１２番　　石　川　さやか	（３－３）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
３　こども食堂への支援の充実について (1) こども食堂への支援について ① 本市として、こども食堂に期待することと、支援の考え方について伺います。 ② こども食堂が抱える課題について、市としてどのように把握されているか伺います。 ③ ふるさと納税制度を活用した支援を推進する考えについて伺います。 (2) こども食堂への食品寄贈事業について ① 大手宅配サービス事業者から、食に課題を抱えるこどもを支援する取り組みが進められています。 　本市の関わり方を含め、進捗状況や課題、今後の取り組みの方向性について伺います。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）	

１２番	議席　７番　　橋　本　　修	（１－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　南押原地区スマートインターチェンジの早期実現と鹿沼市南部地域の将来展望について (1) 南押原地区スマートインターチェンジの早期実現と鹿沼市南部地域の将来展望について ① スマートインターチェンジ整備の現在の進捗状況について伺います。 ② アクセス道路と周辺道路の整備について伺います。 ③ 地域経済の活性化について伺います。 ④ 防災・災害対策への活用について伺います。 ⑤ 地元住民への説明と地域との連携について伺います。		（答弁者：市長・副市長・関係部長）

１３番	議席２１番　　増　渕　靖　弘	（４－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　東京サテライトオフィスについて (1) オフィス開設に伴う市長の戦略と展望について ① 市は「稼ぐ鹿沼」「Made in 鹿沼」の活動拠点として本オフィスを設置したが、企業誘致や観光誘客、市内産品の販路拡大など、具体的にどのような成果を目指しているか伺う。また、それら以外に期待する役割や効果について、市の考えを伺う。 ② 本オフィスの年間経費(賃料、人件費、旅費等)について伺う。また、オフィス開設は積極的な投資と考えるが、期待する成果が得られない可能性や継続的な経費負担などのリスクをどのように捉えているか。あわせて、成果を測る指標(KPI)と、検証の時期及び方法について伺う。 (2) 運営体制について ① 本オフィスを総合政策課の担当とした理由と、本庁の各部署(経済部、ふるさと納税課等)との連携体制について伺う。 ② 配置職員の人数、勤務形態及び通勤の状況など、勤務実態について伺う。 ③ 職員が担う具体的な業務と、これまでの活動実績及び成果について伺う。 ④ 本庁から離れた環境で勤務する職員に対し、どのような配慮や支援を行っているか。また、心身の負担の把握や健康管理について、どのように対応しているか伺う。		（答弁者：市長・教育長・関係部長）

１３番	議席２１番　　増　渕　靖　弘	（４－２）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
２　民生委員の役割と避難行動要支援者名簿の運用について (1) 高齢者状況調査の統合と見守り活動について ① 令和５年度に３年に１回とされた高齢者状況調査を、避難行動要支援者名簿の更新に統合した経緯と目的について伺う。また、統合に当たり、民生委員や民生委員児童委員協議会とどのような協議を行ったか伺う。 ② 従来の高齢者状況調査は、個別訪問を通じて高齢者と関わり、見守りや必要な支援につなげる機会であり、民生委員のやりがいにもなっていた。統合後は、高齢者の状況把握は各委員の任意とされ、市への報告も不要となったが、この変更が民生委員の役割や高齢者に与える影響をどのように捉え、孤立防止を含む継続的な見守り・支援をどのように確保していく考えか伺う。 (2) 避難行動要支援者名簿の作成における市と民生委員の役割分担について ① 避難行動要支援者名簿の作成は、災害対策基本法第49条の10により市町村長に義務付けられた業務である。一方、民生委員法第14条は、民生委員の職務として、住民の生活状態を「必要に応じ」適切に把握することや、関係行政機関の業務に「協力」することを定めている。民生委員に名簿の更新を依頼している根拠と、市が主体となって責任を負う業務と民生委員に協力を求める業務の範囲を、どのように整理しているか伺う。 ② 大規模災害時には、民生委員自身も被災者となりうる。災害発生時に民生委員が担う役割(安否確認、避難支援等)の範囲と、民生委員自身や家族の安全確保を優先するという考え方を、市としてどのように整理し、民生委員に示しているか伺う。		（答弁者：市長・教育長・関係部長）

１３番	議席２１番　　増　渕　靖　弘	（４－３）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
(3) 名簿情報の共有と災害時の活用について ① 名簿をコミュニティセンター等で保管し、民生委員は情報を把握している一方、自治会には情報が共有されていない状況について、市はどのように認識しているか伺う。また、災害対策基本法第 49 条の 11 第 2 項では、原則として本人の同意を得た上で、自主防災組織等の避難支援等関係者に平常時から名簿情報を提供するものとされている。自治会や自主防災組織への情報提供の現状と、今後の考えを伺う。 ② 災害発生時に、コミュニティセンターに保管された情報を速やかに活用できず、自治会や民生委員による安否確認・避難支援に支障が生じるおそれがある。緊急時に情報を活用できる体制と、自治会・消防団・民生委員等の役割分担について、現状と改善の考えを伺う。あわせて、市は地域での活用を関係者で協議するよう求めているが、その協議の場を市が主導して設ける考えはないか伺う。 ③ 令和 3 年の災害対策基本法改正により、避難行動要支援者ごとの個別避難計画の作成が市町村の努力義務とされた(同法第 49 条の 14)。市の資料では名簿掲載者は 1,143 名とされているが、その個別避難計画の作成状況と、今後の取組について伺う。 (4) 民生委員への支援について ① 物価高騰により、民生委員の活動に伴う交通費や通信費等の経費負担が増加していることについて、市はどのように認識し、支援を考えているか伺う。		

１３番	議席２１番　　増　渕　靖　弘　　（４－４）

発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
３　常任委員会の視察について (1) 県議会の常任委員会視察における執行部の同行体制について ①　県議会の常任委員会視察には、所管部局の職員が同行している。執行部が同行することの意義や効果を市の執行部がどのように捉えているか伺う。 (2) 鹿沼市の常任委員会視察における執行部の同行について ①　産業建設常任委員会の視察に文化課長及び観光交流課長が同行したことについて、市としてどのような成果があったと評価しているか伺う。 ②　常任委員会の視察は、先進事例を学び、鹿沼市の施策に生かすことに意義がある。議会と執行部が同じ現場で学び、課題認識を共有することで、施策の実現につながりやすくなると考える。県と同様に、視察内容に応じて所管課の職員が同行する体制を、他の常任委員会にも広げ、市としても積極的に参加していく考えはないか伺う。	（答弁者：市長・教育長・関係部長）

１４番	議席２０番　　小　島　　実	（３－１）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　野生鳥獣の被害について (1) 野生鳥獣及び熊被害の実態について ① 市内過去３年間の鳥獣被害の概要と熊の目撃情報の件数をお伺いします。 ② 市内過去３年間の鳥獣被害額を農業・林業に分けて伺います。 (2) 野生鳥獣及び熊被害の防止対策について ① 電気柵や防護柵の補助拡充と維持管理支援について、お伺いします。 ② 野生鳥獣の捕獲体制と人材育成の強化について、お伺いします。 ③ 熊などの出没情報の伝達と通学路の安全体制及び住宅周辺の安全対策をお伺いします。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１４番	議席２０番　　小　島　　実	（３－２）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
２　旧粟野中学校敷地について (1) 旧粟野中学校敷地に粟野郵便局が移転する予定について ① これまでの経緯について、お伺いします。 ② 移転後の郵便局への交通手段について、確保できているのか、不便にならないのか伺います。 ③ 移転先周辺は道路が狭い。交通安全対策の考えをお伺いします。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）	

１４番	議席２０番　　小　島　　実	（３－３）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
３　旧粟野中学校体育館について (1) 旧粟野中学校体育館の危険性について ①　体育館の老朽化の現状と管理状況をお伺いします。 ②　防犯上の問題で不法侵入や火災、強風による倒壊の可能性もあるが、お伺いします。 ③　景観上の問題でフィルムコミッションやイベント、敷地の有効利用にも影響していないかお伺いします。 ④　現状のまま放置していいのか今後の方向性とスケジュールをお伺いします。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）	

１５番	議席１５番　　佐　藤　　誠　　（３－１）	
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
１　戦没者追悼式について (1) 戦没者追悼式について ① 戦没者追悼式に中学生をはじめ多くの市民が参加できるよう市が率先し各種関係機関との調整を主として取り組み、以って安全保障の理解を含めた真の平和教育の推進を図るべきだが執行部の見解を伺う。		（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）

１５番	議席１５番　　佐　藤　　誠	（３－２）
発　　言　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨	
２　『地域ブランド調査 2026』について (1)『地域ブランド調査 2026』について ①『地域ブランド調査 2026』の本市の結果に対する執行部の分析を求めつつ、本市の魅力向上を今後の市勢発展に繋げていけるのか、その可能性と取り組みの意向を伺う。	（答弁者：市長・副市長・ 教育長・関係部長）	

１５番	議席１５番　　佐　藤　　誠	（３－３）
発　　言　　要　　旨		答　　弁　　要　　旨
３　鹿沼の酒づくり(ビール・ワイン・日本酒)について (1) 鹿沼の酒づくり(ビール・ワイン・日本酒)について ① 本市内でビール・ワイン・日本酒と多様な酒類がつくられていることは、シティプロモーションやシビックプライドや産業振興の観点で誇れる貴重な特性であるといえる。この特性を持つことを市としても好機と捉え積極的に活用・支援・発信・啓発していくべきと考えるが執行部の見解を伺う。		(答弁者：市長・副市長・教育長・関係部長)